

医食同源生薬研究財団が公益認定、「未知の栄養成分」研究

医食同源生薬研究財団(東京都中央区)が1日付で公益認定され、公益財団法人となった。同財団は昨年4月設立。今年度は、約500施設の保育園・幼稚園を対象に、給食の米飯の種類が欠席率等に与える影響の検討を実施する。また、食品の効果・効能について探索的な研究を行う。

15日に行われた会見で、財団名誉会長の雑賀慶二氏(東洋ライス代表取締役)は、未知の栄養成分の研究等で「医食同源に基づき農水産物に日の目を当てるとともに、『不老健康長寿』を実現する社会実装に軸足を置いた公益財団法人の設立を目指した」と説明した。